



理事長 福井 直美

2023年がスタートして2週間がたちました。皆さんは新しい年にどのような期待や希望をお持ちですか。私は月並みですが「コロナに負けず、福も幸もあられる年になりますように」と、誰にも幸福な1年が当たり前に送れることを願っておりますが、依然としてコロナはおさまる気配がありません。

今年修了する年長組は幼稚園生活の大半をマスクで過ごし、思い切り運動することも、大きな声で笑ったり歌ったりすることができませんでした。私は幼稚園の現場に42年間務めておりましたが、子どもたちと一緒に歌を歌うことが大好きでした。春夏秋冬、季節や自然を感じる歌、行事ごとの日本の伝統的な歌、さらにはイメージを思い浮かべて物語を楽しむ歌など、思い出に残る歌はたくさんありました。歌うことで、気持ちが高揚し、気分爽快になります。音楽のもつ力は人の体や心に多くの効果をもたらすのに、歌う機会がコロナのために制限されることは誠に残念でなりません。

そこで、今回全幼研でははじめてのコンサートを企画し、講師に、幼児教育の世界ではその歌を知らない人はいないという多くの心に響く曲を作ってくださっている新沢としひこさんをお迎えできました。新沢さんは1963年東京に生まれ、学生時代からの保育者の経験を生かして子どもの世界に関わる様々な創作活動を続けていらっしゃいます。デビュー40周年、さらに還暦をお迎えになりました。

新沢ファンが100人を超える会場は、参加型研修であり、歌とトーク、笑顔と涙がにじむ素敵な時間を共有でき、アドレナリンが脳にたくさん出て元気になったように思います。

「道草」から始まりたくさんの歌を歌っていただき、「バナナくん体操」をしたり、「友達になるために」の手話をしたり、映像も交えたコンサートはアツという間の90分でした。世界一のピース！では参加者みんなで新沢さんと写真撮影もしました。「虹」で締めくくったコンサートの模様は私が感想を述べるよりホームページでオンデマンド放映いたしますので是非ご覧ください。人としての優しさを取り戻し心豊かになること間違いなしです。もうしばらくお待ちください。



ありがとうございました